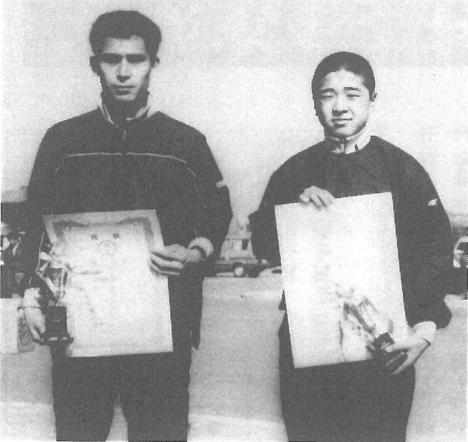


鈴木選手からタスキを受ける押尾選手
区間賞を取った奥崎、吉川の両選手



春一番が吹きつけた2月11日、
蓮沼村を会場に「山武郡市駅伝
大会」が行われ、12区間32・4
キロメートルのコースで、10チ
ーム120人が抜きつ抜かれつの熱
戦を繰り広げました。横芝町は、



ゴールするアンカーの五木田選手

春一番にもめげず力走

第17回 山武郡市駅伝大会



珍しい話題などがあ
りましたら
ぜひ御連絡ください

寒牡丹紅に触れたし菰の中	海保 きみ	出稼ぎの夫に送る布子縫ふ	暖冬の大根重く抜かれけり	反りをうつ富者の豊寒茜	藤代 ゆう	寒灯や重き扉の錠の音	梅咲くや薫家ながらも不足なし	紙絞の先なめて耳壙る春どなり	初髪の嫁と乗合す昇降機	（選者）土屋 信一
		若梅あやめ	若梅あやめ							
		宇井 芝童								

今から6年前の56年11月、200キロも離れた甲府市から飛んできた風船がもたらした、心温まる交流の話題を、以前紹介したことがあります。その鳥喰下の齊藤利吉さんと春日小学校の児童達のお付き合いが、現在もほのぼのと続いています。昨年11月には、当時1年生の児童達が6年生になつたため「卒業までにぜひ会いたい」と、2度目の訪問を果し、学校、父兄ぐるみの歓迎を受けて大変感激されたそうです。「こんなに長くお付き合いできたのも、子ども達の純真な心があつたからだと思います。これからも続けて行きたい」と

話す齊藤さんの満ち足りた笑顔が印象的でした。



齊藤さん(右2人目)と春日小の児童・父兄の皆さん

今も続くほのぼの交流